

じびか歳時記「石けんの効果を改めて見直そう号」 VOL42号

3月3日の雛祭りも終わりましたが、鹿児島ではひと月遅れの4月3日を雛祭りの日とするところもあります。そこで、今回は、職員の方の「ひな祭りの思い出」でエッセイを書いてもらいました。

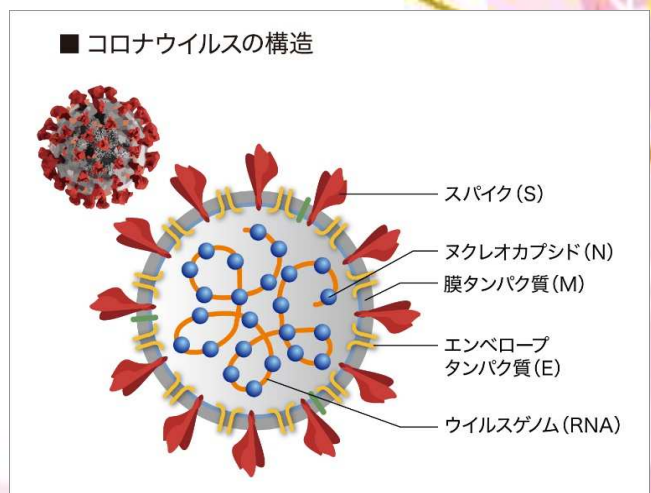
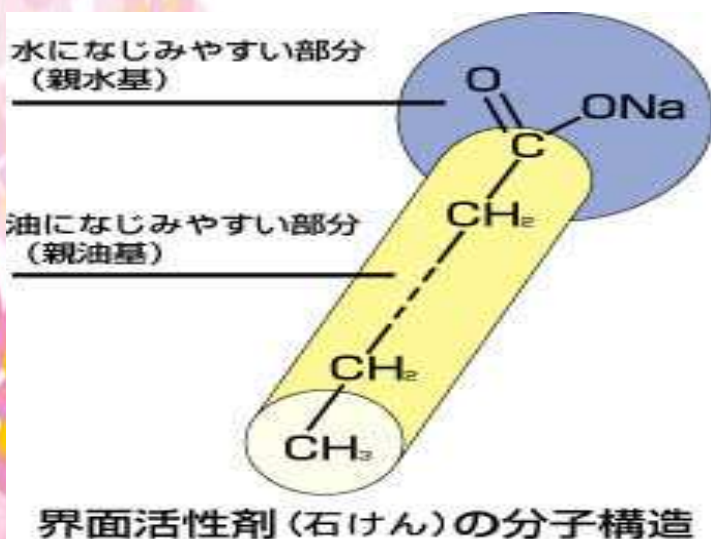
院長からの話題は「新型コロナウイルスにはせっけんによる手洗いが有効」です。これまで時々、科学雑誌「ニュートン」から引用して、「じびか歳時記」に掲載したことがありましたが、今回も「ニュートン4月号」に興味深い記事がありましたので、以下に引用いたします。とても役立つ情報ですので、じびか歳時記愛読者の皆さま、どうぞ参考にしてください。

せっけんなどの洗剤は「界面活性剤」とよばれ、水と油よごれの境目に作用して、本来は混じり合うことのない水と油を混じり合わせるはたらきをします。界面活性剤の分子は、油となじみやすい「親油性」と、水となじみやすい「親水性」の部分からできています。すると、例えば衣類を洗濯するときには、界面活性剤の親水性の部分が水と結びつき、繊維の中までしみこみます。そして、親油性の部分が服についた油よごれと結びつき、よごれを繊維から引きはなすのです。

新型コロナウイルスの表面は、脂質でできた「エンベロープ」とよばれている膜（脂質二重膜）でおおわれています。界面活性剤を使うと、親油性の部分がエンベロープと結びつくため、エンベロープ分解することができます。エンベロープがこわれると、ウイルスは感染力を失います。そのため、せっけんによる手洗いが新型コロナ対策として有効なのです。

もちろん、アルコール消毒も効果的です。消毒用アルコールは高濃度の「エタノール」水溶液です。エタノールの分子に含まれるエチル基は親油性、ヒドロキシル基は親水性なので、界面活性剤と同様にエンベロープをこわし、新型コロナウイルスを撃退することができます。

ただ、すべてのウイルスがエンベロープをもつわけではありません。たとえば、インフルエンザウイルスにはエンベロープがありますが、急性胃腸炎を引き起こすロタウイルスやノロウイルスにはありません。そのためアルコールでは撃退できず、次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素系消毒薬を用いる必要があります。



<上の2つの図はインターネットからの引用です>

私のひな祭り

ひな祭りは、五節句のひとつ。「上巳の（じょうし）の節句」古代中国では、忌日（いみび）とされけがれをおはらう為水辺で体を清め厄払いが行われ平安時代頃日本に伝わりお人形遊びから江戸時代に節句とひな人形を段飾りして祝う行事になったそうです。私自身ひな人形もっていないが娘には、7段飾りを準備し小学生頃まで飾っていまでは倉庫に眠ったまま。由来を学び毎年お内裏様とお雛様だけでも飾っていらおうと思いました。

私のひな人形は、雌雛・雄雛がケースに入っているコンパクトな物です。ひな祭りが近づくと、押し入れから箱を出し、そこからケースを取り出せば簡単に飾れるものでした。お顔立ちも繪圖で大好きだったのですが、子供の頃はよぞ様の家の7段飾りを羨ましく思っていました。それが忘れられなくてか？我が子には人形も大きな3段飾りのひな人形を購入しました。狭い家に場所をとる立派なひな人形、3月が近づくと飾ることがフレッシャーに感じています。飾ってしまえば気分もウキウキするのですが…（笑）

子供が生まれてからは、「私の」ひな祭りは、「娘の」ひな祭りになりました。桜色を基本に飾りつけをしたり、献立を考えたり。そして、この時期のデザートは桜色の和菓子に惹かれるのです。

学校給食で、ひな祭りの日は菱形の3色の層になったゼリーが定番でした。どんな味かは覚えていないのですが年に一度しか食べれないそのデザートが好きだった記憶があります。

ひな祭りは桃の花を飾ります。可愛いピンク色のお花です。私は暖かく春を感じる桃の花が好きです。花言葉はいくつかあり、氣立てのよさ・チャーミングなど女性のシンボルとして付けられたそうです。フランスでは冬の寒さに耐え花を咲かすことから、辛抱・忍耐の意味がある

私は三人姉妹です。家のひな人形は、ガラスのケースに入れており上には木の板がのっています。今まで女にも疑問に思っていませんでしたが最近聞いた話によると小さい頃、姉がひな人形のケースの上に乗って割れてしまったようです…。その日からずっと家のひな人形は木の蓋がしてあります（笑）

